

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課(八ヶ岳総合博物館)

会議の名称	茅野市博物館協議会		
開催日時	平成 28 年 3 月 29 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 研究室		
出席者	宮澤志郎副委員長 市川純章委員 名取陽委員 小口隆秀委員 根橋良紀委員 島立幸男委員 伊藤美恵委員 小平一次委員 山田利幸教育長 木川亮一生涯学習部長 守矢昌文文化財課長兼尖石考古館長 若宮崇令八ヶ岳総合博物館長 田村健神長官守矢史料館長 小林健治八ヶ岳総合博物館係長 柳川英司八ヶ岳総合博物館古文書担当 小池岳史尖石縄文考古館考古館係長		
欠席者	沖野外輝夫委員長 大勝弘子委員 吉川正子委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
宮澤副委員長	<p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p style="margin-left: 20px;">(1)平成 28 年度主要事業の報告</p> <p style="margin-left: 40px;">①尖石縄文考古館</p> <p style="margin-left: 40px;">②八ヶ岳総合博物館</p> <p style="margin-left: 40px;">③神長官守矢史料館</p> <p style="margin-left: 20px;">(2)第 5 次茅野市総合計画策定について</p> <p style="margin-left: 20px;">(3)分野別実行計画「博物館の充実」について</p> <p style="margin-left: 20px;">(4)その他</p> <p>4 閉会</p> <p style="margin-left: 20px;">< 協 議 ></p> <p>主要事業報告について 3 館発表後、まとめてご意見、ご質問をうかがいます。</p>		
守矢尖石縄文考古館長(以下、考古館長)	(尖石縄文考古館資料について説明)		
若宮八ヶ岳総合博物館長(以下、「博物館長」)	(八ヶ岳総合博物館資料について説明)		
田村神長官守矢史料館長(以下、史料館長)	(神長官守矢史料館資料について説明)		
宮澤副委員長	ご質問等、ありますでしょうか。		

市川委員	<p>総合博物館のモバイルプラネタリウム「学習投影」とは、天体のコンテンツのみ行ったのか。</p> <p>スクリーン投影装置として考えると必ずしも天体のことだけでなくもよいのではないかと考えたが、そのような使い方はしていないのか。</p>
博物館長	<p>現在のところ、天文分野に特化してやっている。今後、天文に限らず映像投影など、いろいろな使い方が考えられる。</p>
小平委員	<p>「尖石サロン」は計画にあるが、実施報告がない。発足当初は、ボランティア・各サークル活動者を対象とし、館と活動をよりよくするための議論をしていたが、最近是一般市民を対象にしたものになってきている。企画趣旨も変わっているようである。</p> <p>また、「学習会」についても同様。ボランティアの活動を拡大していく方向ではないように思える。復活してほしいという意見がある。</p>
小池考古館係長	<p>「学習会」について、平成 26、27 年度は年 3 回開催した。平成 28 年度は 1 回のみ実施し、対象者は特別学芸員・検定合格者を対象とした。(報告書訂正)</p> <p>今後、展示解説の協力者育成のため検定合格者対象としたものは継続する。</p> <p>平成 29 年度は縄文フェスなどの大規模イベントなどもあるためボランティア・サークル会員を対象とした従来のような取組については現状、計画していなかった。要望があるということなので検討したい。</p>
小口委員	<p>広報活動について、たくさんの事業をやっているのに、学校や他市には情報が行き届かない、もったいない。費用がかからない方法でできれば。</p>
宮澤副委員長	<p>目に留まるような、耳に入るようないい方法を考えてほしい。</p>
名取委員	<p>せっかく行われている事業に、市内・郡内にも関心はあるがなかなか足を運べない利用者も多い。</p> <p>市内・郡内学校の児童生徒・先生方に利用してもらえるかが大事だと考える。今年度、様々な事業をこなしてこられたが、実際にやってみた感触を聞かせてもらいたい。</p>
博物館長	<p>モバイルプラネタリウムについては子どもも先生方にも大変喜んでいただいている。広報が足りず学校の先生方に伝わっていないのか、この半年間は利用数が少ない印象。数年かけて徐々に広まっていくと思われる。</p>
考古館長	<p>茅野市では学校で「縄文科」に取り組んでいる。13 校全校に学芸員が行ければよいが、手が回らない現状もある。要請のあった学校とやり取りを重ねて実現するので、早めに計画してもらえれば。</p> <p>先生方からの縄文科授業の相談を受け、授業内容を提案したり、資料を貸し出したりするというやり方で協力している。</p>

宮澤副委員長	先日、学校行事の引率で博物館に来館し、初めてモバイルプラネタリウムも体験した。体験した教師の口コミで、実際に広がりつつある。学校の実情としては授業での活用についての、担任の見通しが重要。またバスの確保も大変。
山田教育長	理科の星の学習は、得意な教師は少ない。まだ教師がプラネタリウムの存在を知っていない。だんだんと利用され、茅野市の子どもは一番、星の学習ができるようになってほしい。
島立委員	縄文ライフフェスティバルに関連して市民館ではフードスケープが計画されている。関連した催し物を行うのに、考古館を会場として使い、入館料を無料とすることができるか。
考古館長	縄文ライフフェスティバルは多くの方に来場いただきたいので、期間中の無料開館についてはプロジェクト実行委員のなかで協議が行われるであろう。催し物会場として使えるかどうかは、スペース・日程などについて館内の企画との調整が必要な事項である。
根橋委員	広報ちのにいろいろな情報が載っていて、各館の情報が埋もれているが、市民館のように2か月分の情報を1枚にまとめて配布し、文化施設の催し物がわかるようなものがあるといい。 広く知らせ、一人でも多くの人に参加してもらえるよう、わかりやすく広報することが課題である。
木川生涯学習部長	市報は月に1回、担当部署(広報)が取りまとめている。市民館のものは市報とは別に制作されているもの。文化施設だけでなく、スポーツ施設・各種講座・行政からのお知らせなど限られた紙面にあらゆる情報がすべて掲載されている。3館の情報をわかりやすく掲載する工夫はできるものと思われる。
小池考古館係長	尖石サロンのご意見について。発足当初とは職員、サークル会員・ボランティアが入れ替わり、現状、以前と同じようには進められていない。今後、話し合う機会を持ちたいと考えている。
宮澤副委員長	<総合計画策定について> 次に、総合計画策定について、説明をお願いします。
小林博物館係長 宮澤副委員長	(資料説明) 質問やご意見、ありますでしょうか。
小平委員	「総合計画」は行政のなかではどういう意味を持つものなのか。市長が変わったら変わるのか、市議会との関係は。職員はどのように取り組むのか。
木川生涯学習部長	「総合計画」は、市政において最上位の計画で、理念・目指すべき方向性が示されているものである。

	<p>現在の第 4 次総合計画「市民プラン」は、「人も自然も元気で豊か 躍動する高原都市」を将来像・キャッチフレーズとし、この中で8つの分野について目指すべき方向性を定めている。市政はそれをもとに行われる。市長が定め、議会の承認も得る。</p>
小平委員	<p>現在は縄文について力を入れているが、変わることもあり得るのか。</p>
木川生涯学習部長	<p>縄文の取り組みは、市民プランの8つの柱に入っていない、現市長の施策である。「総合計画」は体制が変わったからといって、大きく変わるものではない。状況・時期や情勢によって、やり方やその内容つまり「個別計画」が変更されるという可能性はある。</p> <p>「総合計画」は簡単に変わるものではないので、市民の皆さんにわかりやすいものでなければならない。</p>
宮澤副委員長	<p><博物館の充実について></p> <p>よろしいでしょうか。では分野別実行計画策定にあたり、具体的に「八ヶ岳総合博物館の充実」について説明をお願いします。</p>
小林博物館係長	<p>(資料説明)</p>
宮澤副委員長	<p>ご意見などありますでしょうか。</p>
小林博物館係長	<p>今回見ていただいた計画は今後、図書館・公民館を含めた「社会教育推進計画」のひとつとして社会教育委員会で検討が進められることになる。以後、お気づきの点があれば事務局にご連絡を。</p>
小林博物館係長	<p><その他></p> <p>今回で博物館協議会委員の 2 年間の任期が満了となります。2 年間ご協力ありがとうございました。</p>
柳川古文書担当	<p>(博物館企画展・史料館企画展の案内)</p>
宮澤副委員長	<p>以上をもちまして、協議事項はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。</p>
	<p>～午後 3 時 00 分閉会～</p>